



## 事業部「モーターサイクル・パワースポーツ」を新設： ボッシュが世界の二輪車市場でプレゼンスを強化 あらゆるクラスに対応した幅広い製品群を提供

2015年3月23日  
PI 8822 BBM joe/af

- ▶ ディルク・ホーアイゼル：  
「二輪車市場におけるリーディングサプライヤーを目指す」
- ▶ ボッシュが二輪車関連の部品供給ビジネスを独立事業化
- ▶ 二輪車市場は2021年には1億6,000万台以上に成長
- ▶ ボッシュは二輪車用安全システムのグローバルリーダーへ
- ▶ 小型二輪車から高性能な二輪車、四輪バギー、水上オートバイ、スノーモービルまで多彩な製品ラインナップを用意

横浜/シュトゥットガルト - ボッシュは、急成長する世界の二輪車市場で地盤の強化を図るため、安全システム、パワートレインテクノロジーおよびディスプレイ機器を含む二輪車関連事業を統合し、独立した事業部門「モーターサイクル・パワースポーツ」として新設します。事業部新設の目的は、全世界の二輪車メーカーの個々の要求により効率的に応えること、また二輪車システム関連の製品群を拡充し、専門知識を強化することにあります。「効率性と安全性の向上に寄与するボッシュのテクノロジーは今や乗用車に欠かせない存在となっていますが、私たちは将来、二輪車分野でも同じことを実現したいと考えています。そして、二輪車市場においてもリーディングサプライヤーとなることを目指しています」。ロバート・ボッシュ GmbH 取締役会メンバーのディルク・ホーアイゼル (Dirk Hoheisel) はこのように述べました。

新事業部のモーターサイクル・パワースポーツは今後、ボッシュのモビリティソリューションズ セクターの一角を構成することになります。世界の二輪車産業の中心地である日本の横浜に本部を置き、米国、欧州、インド、中国に支社を展開し、グローバルな体制を構築していきます。新しい事業部門は、二輪車だけでなく、四輪バギー、水上オートバイ、スノーモービルなどの特殊な乗り物向けの部品も手がける予定です。新部門は、モビリティソリューションズ セクターの数千人の従業員と生産工場のネットワークを駆使し、約40人の人員体制でスタートします。

### 市場は5年で倍増

手頃な価格・ランニングコストで利用できるモビリティ手段へのニーズが世界的に増し、それが二輪車の需要を押し上げています。調査機関から、世界の二輪車生産が 2021 年までに現在の約 1.3 倍にあたる年間 1 億 6,000 万台を超えるとの予測が発表されています。「ボッシュにとって重要な安全システム、パワートレインテクノロジーやディスプレイ/インフォテインメントシステムに限れば、市場は今後 5 年間で倍増する見通しです」(ホーアイゼル)。こうした成長をけん引するのはアジアで、調査によると、2021 年には世界の二輪車生産のほぼ 90%を中国、インド、東南アジア諸国が占めると予想されています。その生産の主力は、アジアの多くの地域で手軽な乗り物として広く愛用されている排気量が 250cc 以下の小型二輪車です。

### **二輪車の未来のカギは安全性、クリーン、ネットワーク化**

ボッシュの部品は、アジアで人気のローエンドモデルから、欧米と日本で底堅い需要のある排気量 1,000cc 超のパワフルなマシンまで、二輪車市場全体を広くカバーしています。そのなかでも主力となる製品は、ABS や二輪車版 ESC であるモーターサイクル用スタビリティコントロール(MSC)などの安全関連ソリューションです。そして、ボッシュは二輪車用安全システムのマーケットリーダーとなっています。製品ポートフォリオにはそのほかにも、電子制御式燃料噴射システム、電動二輪車用パワートレインコンポーネント、二輪車をスマートフォンやタブレット端末、さらにはコネクテッドクラウド サービスなどと接続するためのインターフェースも含まれます。新事業部門を部門長として率いるジェフ・リアッシュ(Geoff Liersch)はこう述べています。「私たちのシステムにより、二輪車の安全性と効率性、そして走る喜びがさらに高まるでしょう」。

ボッシュはこうした製品群を通じて、世界の二輪車市場が直面する喫緊の課題に対するソリューションを提供しています。その課題とは、多くの国で規制が強化されつつある排出ガス対策と、ライダーの死亡事故の多発です。2010 年だけで、全世界で 28 万 5,000 人を超えるライダーが事故で命を落としました。GIDAS(ドイツの交通事故調査データベース)によると、ABS が標準装備された場合には、死亡や負傷につながる二輪車の事故全体の 4 分の 1 を防ぐことができ、さらに MSC は、ライダーのミスによりコーナーで発生する二輪車事故の 3 分の 2 で効果を発揮できるとされています。

### **最新のボッシュの技術が燃費向上に寄与**

安全性のほかに、走る喜び、低燃費、ネットワーク化は、ボッシュの二輪車ビジネスの成長をけん引する重要な要因です。アジアでは多くの二輪車のエンジンにシンプルなキャブレターがまだ使われています。ボッシュが提供する電子制御式燃料噴射システムを装備することで、条件と環境にもよりますが、燃費を最高 16%向上させることができます。「中国やインドで排出ガスの削減に貢献できるということです」とリアッシュは述べています。また、ボッシュはライダーに、エンジン制御のためのインテリジェントなデジタルソリューションを提供しています。このソリューションは、スマートフォンアプリと連携させ、イモビライザーの作動や故障メモリーの読み出しといった処置を行えるようにするもので、これらアプリの作動に必要な Bluetooth インターフェースやコネクティブティコントロール ユニットもボッシュは提供しています。

関連リンク: [www.bosch-motorcycle.com](http://www.bosch-motorcycle.com)

**報道関係対応窓口:**

Joern Ebberg

電話: +49 711 811-26223

舟田 直美

松本 有可

電話: +81-3-5485-3393

モビリティソリューションズはボッシュ・グループ最大の事業セクターです。暫定決算における2014年の売上高は333億ユーロで総売上高の約68%を占めています。モビリティソリューションズの売上により、ボッシュ・グループはリーディング・サプライヤーのポジションを確立しています(注: 会計方針の変更のため、今回公表する2013年のデータと昨年発表した2012年データは、限定的な範囲での比較)。モビリティソリューションズでは主に、内燃機関用噴射技術、代替駆動コンセプト、効率的そしてネットワーク化されたパワートレイン周辺機器、アクティブ/パッシブセーフティシステム、運転支援/コンフォート機能、ユーザーに優しいインフォテインメント技術やCar-to-CarおよびCar2Xコミュニケーションとコンセプト、オートモーティブアフターマーケット向けのサービスや技術といった分野で事業を行っています。なお、ボッシュ・グループは、電気駆動マネジメントや横滑り防止装置ESC(エレクトロニック・スタビリティ・コントロール)、ディーゼルシステム用コモンレールなどの重要な革新的自動車技術にも対応しています。

ボッシュ・グループは、グローバル規模で革新的テクノロジーとサービスを提供するリーディング・カンパニーです。暫定決算における2014年の従業員数は約290,000人、売上高は489億ユーロを計上しています。事業はモビリティソリューションズ、産業機器テクノロジー、消費財、エネルギー・建築関連テクノロジーの4事業セクター体制で運営しています。ボッシュ・グループは、ロバート・ボッシュ GmbH とその子会社約360社、世界約50カ国にあるドイツ国外の現地法人で構成されており、販売、サービス代理店のネットワークを加えると、世界の約150カ国で事業展開しています。この開発、製造、販売のグローバル・ネットワークが、ボッシュのさらなる成長の基盤です。2014年にボッシュは全世界で約4,600件の国際特許の基礎特許(第一国出願)を出願しています。私たちボッシュ・グループはコネクテッドライフに向けたイノベーションの提供を戦略的目標に定め、革新的で人々を魅了する全製品とサービスを通じ、人々の生活の質を向上します。つまりボッシュはコーポレートスローガンである「Invented for life」人と社会に役立つ革新的テクノロジーを生み出していきます。

ボッシュの起源は、1886年に創業者ロバート・ボッシュ(1861~1942)がシュトゥットガルトに設立した「精密機械と電気技術作業場」に遡ります。ロバート・ボッシュ GmbH の独自の株主構造は、ボッシュ・グループの財務上の独立性と企業としての自立性を保証するものです。「株主(利益配当)」と「経営(議決権)」が完全に分離した企業形態によって、ボッシュは長期的な視野に立った経営を行い、将来の成長を確保する重要な先行投資を積極的に行うことができます。ロバート・ボッシュ GmbH の株式の大半は非営利組織である公益法人「ロバート・ボッシュ財団」(持株比率92%、議決権なし)が保有しています。議決権の大部分は株主の事業機能実行機関である共同経営者会「ロバート・ボッシュ工業信託合資会社」が保有しています。残りの株式と議決権は創業家であるボッシュ家とロバート・ボッシュ GmbH が保有しています。

さらに詳しい情報は以下を参照してください。

[www.bosch.com](http://www.bosch.com) ボッシュ・グローバル・ウェブサイト(英文)

[www.bosch-press.com](http://www.bosch-press.com) ボッシュ・メディア・サービス(英文)

<https://twitter.com/BoschPresse> ボッシュ・メディア 公式ツイッター(ドイツ語)

[www.bosch.co.jp/](http://www.bosch.co.jp/) ボッシュ・ジャパン 公式ウェブサイト(日本語)

<https://twitter.com/Boschjapan> ボッシュ・ジャパン 公式ツイッター(日本語)

<https://www.facebook.com/bosch.co.jp> ボッシュ・ジャパン 公式フェイスブック(日本語)

<https://www.youtube.com/boschjp> ボッシュ・ジャパン 公式YouTube(日本語)